

**「2025 年日本国際博覧会 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）清掃業務」及び
「2025 年日本国際博覧会 会場内（②西エリア及び南エリア）清掃業務」
に係る企画及び協賛提案 公募要領**

1. 業務名

- ・2025 年日本国際博覧会 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）清掃業務
 - ・2025 年日本国際博覧会 会場内（②西エリア及び南エリア）清掃業務
- （以下、それぞれの業務を指して「本業務」という。）

2. 業務の趣旨・目的

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」という。）が開催する 2025 年日本国際博覧会の会場（以下「博覧会会場」という。）において、国際博覧会にふさわしいおもてなし空間として、すべての来場者や施設利用者が快適で衛生的に利用できる環境を創造・保持することが重要である。

そこで、「来場者の集中度合いに柔軟に対応し、接遇面を重視した運営体制の構築」、「廃棄物の発生段階において管理する仕組みづくり」、「未来社会の実験場にふさわしい「未来の清掃のあり方」の視点から、「廃棄物、汚れはできる限り早く除去する」「廃棄物、汚れを翌日に持ち越さない」さらには「ごみ箱を溢れさせない」「博覧会会場全体の清潔・衛生環境の維持と環境保全」といった目標を達成するよう、いつでも、どこでも、どの来場者に対しても清潔で快適な環境を提供することで、来場者等が博覧会会場内で快適な時間を過ごすための美観の維持のほか、持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献を実現する。

この事業については、民間事業者の知識やノウハウ等を活用し、より効果的な業務を提案する必要があることから、企画及び協賛提案により受託事業者を募集する。

3. 業務の概要

- 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）（②西エリア及び南エリア）清掃業務
- ※詳細は別添仕様書及び特記仕様書を確認すること

4. 提案上限額

- 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）清掃業務：1,084,555 千円（税込）
- 会場内（②西エリア及び南エリア）清掃業務：850,040 千円（税込）

※本業務を実施する全ての経費を含む。（協賛額含む）

5. 履行期間及び契約締結予定時期

契約締結日から 2025 年 10 月 31 日(金)まで（2024 年 4 月頃契約予定）

6. スケジュール（予定）

2024 年 2 月 15 日（木）：公募開始・先行調査成果物請求受付開始・質問受付開始
2024 年 2 月 29 日（木）：質問受付締め切り
2024 年 3 月 6 日（水）：質問回答予定
2024 年 3 月 8 日（金）：先行調査成果物等開示請求の受付締め切り
2024 年 3 月 15 日（金）：提案書類提出締め切り
2024 年 3 月下旬～2024 年 4 月上旬（予定）：選定委員会
2024 年 4 月上旬（予定）：結果通知
2024 年 4 月下旬（予定）：契約締結
2025 年 10 月 31 日（金）：履行期間終了

7. 公募参加資格

（１）次の２つの形態のいずれかであり、下記 7－1 及び 7－2 の全ての資格を満たす者であること。

- ① 単体企業
- ② 複数企業により構成される共同企業体（以下「共同企業体」という。）

7－1. 一般的事項

※共同企業体で参加の場合には、全構成員が下記を満たすこと

（１）次の①から③までのいずれにも該当しない者であること。

- ① 当該公募に係る契約を締結する能力を有しない者
- ② 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 32 条第 1 項各号に掲げる者

（２）主たる事務所の所在地の都道府県における最近 1 事業年度の都道府県税に係る徴収金を完納していること。

（３）消費税及び地方消費税を完納していること。

（４）経済産業省又は大阪府若しくは大阪市から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている者でないこと。

（５）共同企業体に係る事項

① 業務形態

構成員の分担業務は協定書において明確にし、一の分担業務を複数の企業が共同して実施することがないようにし、共同する必要がある場合はその業務における責任者を明確にすること。

② 代表者要件

代表者は指名を受けた企業とし、協定書においても、その旨を明らかに規定すること。

7－2. 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）（②西エリア及び南エリア）清掃業務を履行する者に求める参加資格

(1) 次に掲げる履行実績のいずれかを満たすこと。

- ① BIE の承認のもと国際博覧会条約に基づき開催される国際博覧会に係る清掃業務の経験を有する。
- ② 平成元年度以降に開催された地方博覧会に係る清掃業務の経験を有する。
- ③ 過去 5 年以内に大規模集客施設（店舗、飲食店、展示場等の床面積 10,000 m²超過）の清掃業務の経験を有する。
- ④ 上記の実績に相当する経験を有する。

(2) 次に掲げる資格を有する責任者を配置すること。

- ① 清掃作業監督者の講習会を修了した者
- ② ビルクリーニング技能検定合格者（等級の区分が一級のものに限る）
- ③ 建築物環境衛生管理技術者の免状を有する者
- ④ 上記に掲げるものと同等以上の知識を有する者

8. 応募の手続き

本業務の提案に参加を希望する者の受付手続等は、以下のとおりとする。

上記「7.公募参加資格」を確認の上、必要な書類を受付期間内に提出すること。

なお、会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）清掃業務及び会場内（②西エリア及び南エリア）清掃業務は、それぞれ審査委員会にて審査を行い最優秀事業者を決定するが、双方に申し込むことは可能とする。ただし、選定後の辞退は認めない。

本業務は、企画及び協賛提案を同時に公募する趣旨に鑑み、協賛提案を行う場合は、企画提案と協賛提案を区別し、それぞれの提案内容に要する価格を明確に提示すること。

(1) 公募要領、仕様書及び様式の配布

① 配布期間

2024 年 2 月 15 日（木）から 2024 年 3 月 15 日（金）まで

② 配布方法

博覧会協会ホームページ「『2025 年日本国際博覧会 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）清掃業務』及び『2025 年日本国際博覧会 会場内（②西エリア及び南エリア）清掃業務』に係る企画及び協賛提案について」からダウンロードすること。郵送による配布は行わない。

(<https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/>)

(2) 先行調査及び関係資料等の開示

① 開示請求期間

2024 年 2 月 15 日（木）から 2024 年 3 月 8 日（金）17 時まで

② 請求方法

電子メール（送信先：clean@expo2025.or.jp）で受け付ける。

※「件名」に「【開示請求】2025 年日本国際博覧会 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリ

ア) (②西エリア及び南エリア) 清掃業務」と明記し、【様式 1】守秘義務誓約書に記入・押印
のうえ、PDF にしてメールに添付し、提出すること。

※口頭、持参、電話、ファクシミリによる開示請求は受け付けない。

③ 開示方法

電子メールにより次の先行調査等を開示する。

・「会場内清掃・廃棄物管理基本計画策定調査業務報告書」のうち、清掃業務に関する報告
内容等

(3) 質問の受付及び回答

① 受付期間

2024 年 2 月 15 日 (木) から 2 月 29 日 (木) 17 時まで

② 提出方法

電子メール (送信先 : clean@expo2025.or.jp) で受け付ける。

※「件名」に「【質問】2025 年日本国際博覧会 会場内 (①東エリア、北エリア及び南東エリア)
(②西エリア及び南エリア) 清掃業務」と明記し、質問内容を【様式 9】「質問票」に記載して添
付すること。

※口頭、持参、電話、ファクシミリによる質問は受け付けない。

※質問内容に応募者名を特定できる内容を記載してはならない。

※質問内容に応募者名を特定できる内容の記載がある場合、当該質問に対する回答は行
わない。

※①受付期間以外に提出された質問に対する回答は行わない

③ 質問の回答

質問への回答は、2024 年 3 月 6 日 (水) 頃に、(2) ③にて先行調査及び関係資料の開示
を開示した者に対して、メール送信により行う。なお、質問回答を踏まえて、応募にあたり留意すべき事
項がある場合は、博覧会協会ホームページ「契約情報：2025 年日本国際博覧会 会場内 (①東
エリア、北エリア及び南東エリア) (②西エリア及び南エリア) 清掃業務の公募について」に掲載する。

(<https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/>)

(4) 応募書類の受付

① 応募書類の受付期限

2024 年 3 月 15 日 (金) (メール送信は 17 時まで)

② 応募書類の提出方法

下記の宛先へ郵送により提出すること。(持参による提出は不可)

※2024 年 3 月 15 日 (金) までの消印があるものを有効とする。

宛先：〒559-0034 大阪市住之江区南港北 1 丁目 14-16 大阪府咲洲庁舎 43 階

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 運営事業局 運営部 会場管理課

(清掃担当：中尾、稲田)

また、提出の際は、郵送と合わせて必ず受付期間中に電子メールで応募書類すべてのデータを送信すること。（送信先：clean@expo2025.or.jp）

※メール送信量が 10MB を超える場合は添付ファイルを分割して送信すること。

なお、電子メール送信後、必ず下記あてに電話にて受信の確認を行うこと。

電話番号：06-6625-8745

（土曜日及び日曜日・祝日を除く 10 時から 17 時まで ※12 時から 13 時までを除く）

③ 費用の負担

応募に要する経費は、すべて応募者の負担とする。

（５）下記の書類について、それぞれ指定する必要部数を提出すること。なお、副本については企業名、社章等応募者が特定できる内容の記入をすべて削除（黒塗り）すること。

【応募時に必要な書類】

ア 応募申込書（様式 2：原本 1 部）

イ 企画提案書等（原本 1 部、副本 5 部）

① 企画提案書＜A 4 用紙、様式自由、片面 30 枚（両面 15 枚）を上限とする＞

以下の順に沿って、本万博における重要な点である「廃棄物、汚れはできる限り早く除去する」「廃棄物、汚れを翌日に持ち越さない」さらには「ごみ箱を溢れさせない」「博覧会会場全体の清潔・衛生環境の維持と環境保全」を意識し、できるだけ分かりやすく、簡潔に記載すること。

（ア）清掃管理実施計画書、作業マニュアル作成業務及び研修実施

（イ）清掃業務

（ウ）3Rステーション分別誘導業務

（エ）清掃ロボット等の活用

（オ）管理業務

（カ）設備、資機材、消耗品の確保

（キ）その他

② 全体概要＜A 3 用紙（折込）1 ページで作成・様式自由：原本 1 部、副本 5 部＞

業務全体の概要（検討方針及び進め方、業務実施体制等）について簡潔に表現すること。

③ 工程表＜A 4 用紙 様式自由：原本 1 部、副本 5 部＞

業務全体の工程を示すこと。

ウ 応募金額提案書＜様式 3-1：原本 1 部、副本 5 部＞及び単価内訳書＜様式 3-2：原本 1 部＞
業務ごとの積算内訳を明記すること。

エ 事業実績申告書（様式 4：原本 1 部、副本 5 部）

※ 7-2.（１）に該当する履行実績を記載すること。

オ 共同企業体で参加の場合

① 共同企業体届出書（様式 5-1：原本 1 部）

② 共同企業体協定書（写し）（様式 5-2：原本 1 部）

カ 誓約書（参加資格関係）（様式 6：原本 1 部）

キ 持続可能性の確保に向けたチェックシート（様式 7-1：原本 1 部）

※共同企業体の場合は、全者分を代表者がまとめて提出すること

【審査委員会にて審査後、契約候補者（選定事業者）のみ提出】

※共同企業体の場合は、シ以外の全社分の資料を代表者がまとめて提出すること

※なお、契約候補者が資格審査に必要な書類を提出する場合、博覧会協会の連絡を受けてから 7 営業日後の 17 時まで提出をすること。

ク 定款又は寄付行為の写し（原本証明すること。）（1 部）

ケ 法人登記簿謄本（1 部）（発行日から 3 カ月以内のもの。）

コ 納税証明書（各 1 部）（未納がないことの証明：発行日から 3 カ月以内のもの）

① 本店を管轄する都道府県税事務所が発行する都道府県税（全税目）の納税証明書

② 税務署が発行する消費税及び地方消費税の納税証明書

サ 財務諸表の写し（1 部：最近 1 カ年のもの、半期決算の場合は 2 期分）

① 貸借対照表

② 損益計算書

③ 株主資本等変動計算書

シ 使用印鑑届（様式 8：原本 1 部）※共同企業体で参加の場合は代表構成員のみ提出

ス 印鑑証明書（原本 1 部）

セ 持続可能性の確保に向けた誓約書（様式 7-2：原本 1 部）

ソ 暴力団排除条例に基づく誓約書（様式 10）

タ 配置技術者調書（様式 11）

※ 7-2.（2）に該当する履行実績を記載すること。

チ 業務履行に係る誓約書（様式 12）

（6）応募書類の返却

応募書類は理由の如何を問わず、返却しない。

なお、応募書類は本件に係る提案者選定の審査目的のみに使用し、他の目的には使用しない。

（7）応募書類の不備

応募書類に不備があった場合には、審査の対象とならないことがある。

（8）その他

ア 応募は 1 者 1 提案とする（共同企業体構成員として参加する場合を含む）。

イ 応募書類の提出に際しては、原本 1 部を A 4 ファイルに綴って提出し、副本 5 部はファイルに綴じずに提出すること。A3 版の資料は、Z 折で A4 版とすること。応募書類は電子媒体（CD-R 等）も合わせて 1 部提出すること。

※電子媒体ヘデータを格納する際は、原本・副本の両方を格納すること。

ウ 表紙及び背表紙には提案事業タイトルと提案団体名を記入すること。

＜記入例＞

「2025 年日本国際博覧会 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）（②西エリア及び南エリア）
清掃業務」提案書 株式会社〇〇（法人名もしくは共同企業体名）

エ 書類提出後の差し替えは認めない。（博覧会協会が補正等を求める場合を除く。）

オ 提出書類に虚偽の記載をした者は本件への参加資格を失うものとする。

9. 説明会

実施しない。

10. 審査の方法

（１） 審査方法

ア（２）の審査基準に基づき、業務ごとに評価委員会による審査を行い、最優秀提案者を決定する。ただし、
最高点が複数いる場合は、本業務実施のために必要となる費用の総額から、協賛提案額を除いた価
格が安価な者を最優秀提案者とする。

イ 審査は、書類審査にて行う。

ウ 最優秀提案者の評価点が、審査の結果、100 点満点中 60 点以下の場合は採択しない。

エ 審査内容に係る質問や異議は一切受け付けない。

オ 最優秀提案者は特別の理由がないかぎり、契約交渉の相手方に決定する。

カ 協賛提案がある場合は、企画提案と協賛提案を一括して審査するが、価格点評価は本業務実施のた
めに必要となる費用の総額から、協賛提案額を除いた価格を審査対象とする。

(2) 審査基準

No	審査項目	審査内容	配点
1 - 1	清掃実施計画策定、作業マニュアル作成業務及び研修実施	<ul style="list-style-type: none"> ○清掃管理を整理するにあたり、実施計画に無理はなく実現性があるか ◎清掃管理実施計画の策定に向けて、調査の方法や内容（項目・人員・手順等）について具体的、効率的、効果的、創意工夫、整合性がとれているか ○事業の達成に向けて、作業マニュアルの内容は、作業技術や知識の習得を図るよう具体的、妥当なものとなっているか ○作業員が業務を確実かつ円滑に遂行できるよう、適切な研修内容となっているか ◎事業の達成に向けて、作業マニュアルにおいて具体的にわかりやすくかつ効果的な教育・研修を踏まえた内容・整理となっているか 	5 点
1 - 2	清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> ○博覧会会場内を清潔、快適な環境を維持できるよう一般清掃、ユーティリティ清掃、定期清掃、特別清掃、緊急清掃等の各業務（以下「各清掃業務」という）について、業務実施体制（作業内容、清掃作業員人数及び配置、頻度等）が適切に計画されているか ◎業務上生じうるリスクを想定し、それらの予防、発生時の対応方法が計画されているか ◎各清掃業務が網羅されており、それらに応じた清掃方法、清掃作業員配置等について、仕様以上に付加または改善した内容が示されているか 	20 点
1 - 3	3 R ステーション分別誘導業務	<ul style="list-style-type: none"> ○3 R ステーションにおいて、来場者が適切にごみを分別できるよう業務実施体制（作業内容、作業員人数及び配置）が計画されているか ○博覧会協会が別途契約する廃棄物管理業者（廃棄物管理業務のうち3 R ステーション巡回回収業務）との連携を図る内容となっているか ◎来場者でのごみの分別が効率的にできるような内容が具体的に示されているか ◎3 R ステーション分別誘導業務の仕様以上に付加または改善した内容が示されているか 	10 点
1 - 4	清掃ロボット等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○各業務が適切かつ効率的な業務になるよう導入の検討をしているか。 ◎実現可能であり、省人化（清掃作業員の作業負担軽減）や清掃コスト削減を具体的に示しているか 	5 点
1 - 5	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○清掃管理センターでの業務（会場内清掃管理（清掃情報の一元化、各清掃作業全般の対応指示等）、参加者等からの清掃相談サポート（清掃業者の紹介 	10 点

		<p>等)、別途契約する廃棄物管理業者との連絡調整等)について、業務実施体制が整っているととも、具体的に記載されているか</p> <p>○清掃員詰所での業務(資機材の洗浄ほか管理等)について、業務実施体制が整っているととも、具体的に記載されているか</p> <p>◎各業務が適切かつ効率的な内容で明確に示されているか</p>	
1 - 6	設備、資機材、消耗品の確保、その他	<p>○各清掃業務が遂行可能な各種設備等を適切に選定し、その数量を確保できているか</p> <p>◎各清掃業務に必要な使用資器材等について、仕様以上に付加または改善した内容が示されているか</p> <p>◎各種設備等を迅速、柔軟に確保できる体制をとっているか</p> <p>◎清掃管理施設について適切な衛生環境管理体制を構築しているか</p> <p>○参加型取り組みや普及啓発の協力内容に無理はなく実現性があるか</p> <p>◎参加型取り組みや普及啓発の実施方法についての検討が行われ、効率的・効果的、かつ、実現可能な事業実施方法がとられているか、また、創意工夫がみられるか</p>	10 点
2	業務の理解度	<p>○事業目的等を正しく理解したうえでの提案になっているか</p> <p>○工程を明確にするとともに、各工程に対する具体的な実施スケジュールが明確に示されているか</p>	5 点
3	提案者実績、業務実施体制	<p>○事業遂行に不可欠な専門知識、ノウハウ等の蓄積があるか。</p> <p>◎本業務を遂行するための国際博覧会や類似するイベント等の実務経験者の配置がされているか</p> <p>◎総括責任者及び担当者の主な実績等があるか</p> <p>○各業務実施の体制図及び役割が、事業内容と整合しているか、また、遂行可能な人数が確保されているか</p>	5 点
4	価格点	<p>【価格点の算定式】</p> <p>満点(30 点) × 提案者のうち最低価格(合計) / 自社の提案価格(合計)</p> <p>※本業務の実施のために必要となる費用の総額から、協賛提案額を除いた価格を審査対象とする。</p>	30 点
	合計		100 点

○：最低ライン(基準評価)項目 ◎：加点項目

(3) 審査結果

ア 契約交渉の相手方が決定した後、審査結果は採択に関わらず、全応募者に通知する。

イ 選定過程の透明性を確保する観点から、以下の項目を博覧会協会ホームページ「契約情報：2025年日本国際博覧会 会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）（②西エリア及び南エリア）清掃業務の公募について」において公表する。

(<https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/>)

- ① 最優秀提案者（名称・評価点・提案金額）
- ② 全提案事業者の名称 ※50 音順
- ③ 全提案者の評価点 ※得点順（応募者が2 者であった場合、次点者の得点は公表しない。）
- ④ 最優秀提案者の選定理由 ※講評ポイント
- ⑤ 選定委員会委員の氏名及び選任理由

(4) 審査対象からの除外（失格事由）

次のいずれかに該当した場合は、審査の対象から除外する。

ア 選定委員に対して、直接、間接を問わず、故意に接触を求めること。

イ 他の応募提案者と応募提案の内容又はその意思について相談を行うこと。

ウ 提案者選定終了までの間に、他の応募提案者に対して応募提案の内容を意図的に開示すること。

エ 応募提案書類に虚偽の記載を行うこと。

オ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行うこと。

11. 協賛（運営参加）提案の受付

本業務の企画提案にあわせて本業務内容のうち、会場内（①東エリア、北エリア及び南東エリア）（②西エリア及び南エリア）清掃業務特記仕様書「6. 必要とする主な資機材」に記載の物品について協賛（運営参加）の提案を受付ける。協賛規模（金銭換算による協賛金額）は、100 万円（税抜）以上とすること。なお協賛提案は任意であり、必ずしも提案する必要はない。

(1) 協賛申出書の受付

【様式 3-3 協賛内訳書】を提出すること（原本 1 部：副本 5 部）

(2) 協賛参加資格

契約交渉の相手方のみとする。

(3) 協賛提案の協議及び審査結果の通知

契約交渉の相手方が決定後、協賛提案内容については博覧会協会が契約交渉の相手方との個別協議を経て審査し、その結果を契約交渉の相手方に通知する。

(4) 協賛提案の契約手続き

協賛提案の契約手続きは、企画提案の契約手続きとは別に博覧会協会が契約交渉の相手方と協議を行い、

締結する。なお、契約書については別途提示する。

(5) 履行できない場合の措置

何らかの事由により協賛提案の内容が履行できない場合には、資金協賛等、他の手段により代替措置が必要となる。その場合の具体的手続きについては、博覧会協会との協議によるものとする。

(6) 協賛者名の公表

協賛契約締結後、協賛者名を博覧会協会ホームページにて公表する。

(7) 協賛特典 ※詳細については、協賛特典説明資料を参照

ア 呼称権

協賛者は、運営参加への協賛について、協賛者の商品やサービスの広告やプロモーション等に、博覧会協会が協賛内容に応じて付与する呼称を使用することができる。

イ 名称表示権

協賛者は協賛者の名称・ロゴマークを協賛対象の物品に限り、博覧会会場内外の媒体・アイテム等へ表示することができる。なお、表示箇所・表示面積・表示回数等については、協賛内容の多寡に応じて、博覧会協会が別途定める。

ウ 博覧会協会ホームページ等での社名掲載権

博覧会協会ホームページ、出版物等に、協賛者の名称を掲載する。

エ 万博公式ロゴマーク使用权

協賛者は、万博公式ロゴマーク、公式キャラクター及びデザインシステムを企業広告、社内利用物、頒布品等に使用することができる。ただし、使用方法、使用開始時期等については、博覧会協会が別途定める。なお、協賛者の商品への使用は本協賛特典の対象外であり、協賛者が商品への使用を希望するときは、別途ライセンス契約を締結する必要がある。

※協賛特典の詳細については、会場整備参加（第 2 回）・運営参加（第 5 回）参加説明資料の P.16～21 を参照。

(https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/230712_sanka.pdf)

12. 企画提案に係る契約手続きについて

- (1) 契約交渉の相手方に選定された者と博覧会協会との間で協議を行い、契約を締結する。なお、博覧会協会では、受発注者双方のコスト削減及び効率化の観点から、電子契約サービス「CECTRUST-Light サービス」による電子契約を推進している。手続き方法の詳細については、落札者に対し、博覧会協会から案内する。（詳細はこちら（<https://www.expo2025.or.jp/bidding/promotion/>））
- (2) 採択された提案については、採択後に博覧会協会と詳細を協議する。この際、内容・金額について変更が生じる場合がある。
- (3) 契約金額の支払いについては、受託事業者から提出された業務完了報告について、博覧会協会が検査を実施し、その検査に合格することを条件とする。支払い頻度等については契約の際に協議する。
- (4) 契約に際して、大阪府暴力団排除条例第 11 条第 2 項に規定する暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書（様式 10）を提出すること。誓約書を提出しないときは、博覧会協会は契約を締結しない。
- (5) 契約に際して、持続可能性の確保に向けた誓約書（様式 7-2）を提出すること。

- (6) 契約交渉の相手方が、契約交渉の相手方として決定した日から契約締結の日までの間において、参加除外要件に該当するときは、契約を締結しない。
- (7) 契約交渉の相手方が、契約交渉の相手方として決定した日から契約締結の日までの間において、公募参加資格に掲げる要件を満たさなくなったとき、また、博覧会協会が契約の相手方としてふさわしくないと判断したときは、契約を締結しないことがある。
- (8) 契約相手方は、この契約の締結と同時に、契約金額の 100 分の 5 以上の額の契約保証金を納付しなければならない。(現金に代えて納付される証券を含む。)
- (9) (8)の規定にかかわらず、次のいずれかに該当するときは、契約保証金の全部又は一部を免除する。
 - ア 契約の相手方が保険会社との間に博覧会協会を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
 - イ 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、その他予算決算及び会計令(昭和 22 年 4 月 30 日勅令第 165 号)第 100 条の 3 第 2 号の規定に基づき、財務大臣の指定する金融機関と履行保証契約を締結したとき。
 - ウ 契約の相手方が、過去 2 年の間に博覧会協会、国又は地方公共団体等と種類及び規模をほぼ同じくする契約を 2 回以上締結し、これらを誠実に履行し、かつ、契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - エ 契約金額の年額又は総額が 150 万円以下であり、かつ契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - オ 国、地方公共団体、その他の公共的団体と契約を締結する場合において、契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - カ 電気、ガス、水道、郵便、電話、公共放送の受信等公益事業に係る契約又は主務大臣が認可した契約約款に基づく保険、運送等の契約を締結しようとするとき。
 - キ 調査、研究、計算、鑑定、評価、訴訟、点検等を委託する場合で、契約候補者が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - ク 物品等を購入又は賃貸借する場合で、契約候補者が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

13. 持続可能性の確保

- (1) 採用者は、法令の遵守、環境・人権・労働・公正な事業慣行や地域経済への配慮など幅広い持続可能性の確保に向けた取組みを推進するとともに、広く社会に持続可能性を重視する姿勢が定着するよう働きかけるものとする。
- (2) 採用者は、本契約の履行に際し、博覧会協会が別途定める「持続可能性に配慮した調達コード」(以下「調達コード」という。)の内容の理解に努め、これを遵守しなければならない。
(https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025orjp_2022/assets/pdf/sustainability/202307_sus_code.pdf)
- (3) 採用者は、博覧会協会が採用者におけるサプライチェーンに対する調査・働きかけを含む調達コードの遵守に向けた取組状況について報告を求めるときは、開示・説明に努めるものとする。
- (4) 採用者は、博覧会協会が採用者による調達コードの遵守状況について博覧会協会による確認・モニタリング又は博覧会協会の指定する第三者による調査の受入れを求めるときは、これに協力するものとする。

ただし、採用者が協力に支障のあることについて正当な理由を有するときは、この限りではない。

- (5) 博覧会協会が採用者による調達コードの不遵守を理由に改善措置を求めるときは、採用者は、改善に取り組み、その結果を博覧会協会に報告しなければならない。

14. その他

- (1) 応募提案にあたっては、本公募要領及び仕様書を熟読し遵守すること。
- (2) 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号）等を遵守すること。
- (3) 本公募に係る応募提案手続きについて博覧会協会と参加者との間で用いる言語は、日本語とする。

以上